



がん研有明病院 消化器化学療法科レジデント募集（卒後 3 年目以上）

概要

1. 研修の魅力

- **豊富な症例**：消化器化学療法科(以後当科)では食道・胃・大腸合わせて年間 1000 例以上の新規患者に対して治療を行っております。短期間で、一般病院の数年分の多彩な症例を経験することができます。
- **日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医取得が可能**：他科をローテーションし、がん薬物療法専門医を取得するのに必要な、他領域の疾患を経験することができます。
- **幅広い研修が可能**：希望があれば、がん専門病院における、病理診断、感染症管理、疼痛コントロール、内視鏡診断などの化学療法グループ以外の研修も行うことができます。
- **国内外学会発表・参加の機会**：ASCO(アメリカ臨床腫瘍学会)/ESMO(欧州腫瘍学会)/JSMO(日本臨床腫瘍学会)など、国内外の学会発表・参加の機会があります。(1 年以上のレジデントプログラムの場合)
- **臨床試験に参加**：企業主導の治験(Phase I,II,III)や医師主導の臨床試験に分担医師として参加することができます。
- **充実した教育プログラム**：総合腫瘍科、血液腫瘍科、呼吸器内科、乳腺内科などと協同した教育講義プログラムを通して、がん薬物療法の基礎から日常臨床における応用まで幅広く学ぶことができます。
- **3ヶ月からの短期研修も可能**：1 年以上のレジデントプログラムでの研修が望ましいですが、希望に応じて短期研修も可能です。卒後年数にも制限はありません。

2. 診療実績

当科の年次別診療実績です。食道、胃、大腸あわせて年間 1000 例以上の新患を診察しています。

	食道	胃	大腸	合計
2011 年	149	381	556	1086
2012 年	188	409	599	1196
2013 年	186	384	624	1194
2014 年	144	340	599	1083

3. レジデント進路

これまで当科には述べ 50 名以上のレジデントが在籍し、研修を受けました。1 年以上在籍したレジデントの主な進路は、当院継続（医員採用）、がん専門病院、総合病院、大学病院、大学院進学などです。

4. レジデント終了後バックアップ体制

レジデント終了後も、メーリングリストを通して、実臨床における疑問や、問題症例などについての相談などが可能な体制が整っています。また 1 年に一回の同窓会を開催し、最新のがん化学療法の情報提供を行っております。

5. 研修スケジュール

レジデントとしては最大 3 年間在籍することが可能です。各科ローテーションなどを含め柔軟な研修が可能です。

A 先生の例) 卒後 3 年目から 5 年目 (レジデント終了後は大学院進学)

1 年目	消化器化学療法、海外学会参加
2 年目	乳腺内科、総合腫瘍科、感染症科、国内学会発表
3 年目	消化器化学療法、呼吸器内科、国内学会発表

B 先生の例) 卒後 8 年目から 10 年目 (レジデント終了後は県立がんセンタースタッフ採用)

1 年目	消化器化学療法、基礎研究
2 年目	乳腺内科、総合腫瘍科、呼吸器内科、基礎研究、海外学会発表
3 年目	消化器化学療法、病理部、がん薬物療法専門医取得

6. 最後に

当科では、消化器化学療法に興味のあるレジデントを募集しております。それぞれの希望にあわせて柔軟に研修を組むことが可能です。必要に迫られて期間限定で研修希望の方、本気で腫瘍内科を目指す方、気軽にお問い合わせください。

問い合わせ窓口 がん研有明病院

消化器化学療法科副医長 市村 崇

takashi.ichimura@jfcr.or.jp

